

農業委員会 委員10人を決定 農業委員会制度改革後、初の選出

平成29年
6月定例会
6月9日～23日

主な議案と質疑

筑後市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

(全員賛成 原案可決)

地方税法施行令が改正されたことに伴い、国民健康保険税額軽減の所得判定基準を改正するもの。改正の内容は、平等割及び均等割の2割軽減の対象となる世帯の判定所得を(33万円+48万円×被保険者数)から(33万円+49万円×被保険者数)へ変更。また、5割軽減の対象となる世帯の判定所得を(33万円+26・5万円×被保険者数)から(33万円+27万円×被保険者数)に引き上げるもの。

平成29年度筑後市一般会計補正予算(第1号)

(全員賛成 原案可決)

平成29年度の予算総額を1506万円増額し、191億6806万円と

するもの。主なものは、総務費の庁舎管理に要する経費1333万円、広域行政に関する経費200万円のほか、民生費の地域介護・福祉空間整備推進事業に要する経費896万円が増額された。

問 本庁舎の耐震改修工事をすると、新庁舎建設時に交付税措置が適用されないとの事で、財源的に懸念されるが、新庁舎建設は、計画通り進めるつもりか。

答 耐震診断の結果、特に本庁舎が弱いことが判明。市民や職員に危害が及ばないよう、震度6程度の地震では倒壊しないような耐震改修をしたい。新庁舎建設は、今後も庁内で協議し、庁舎建設特別委員会にも意見を聞きながら、再検討するが、当面は今の計画を進めていきたい。

6月定例会では、提案された16議案(人事案件10件、意見書2件、委員会提案、議長発議各1件含む)を原案どおり可決しました。
一般会計補正予算では、市役所本庁舎の耐震改修工事を実施するための設計業務委託料1333万円などを盛り込んだ1506万円が増額されました。市役所本庁舎については、震度6強の地震により「倒壊または崩壊する可能性が高い」と診断されたことから、今後、応急の補強工事が始まります。
最終日には、農業委員会等に関する法律の改正による、農業委員会委員の選出方法の変更後、初めて10人の委員が議会で同意されました。

農業委員会委員の選出について同意

(全員賛成 原案可決)

農業委員会委員の選出方法については、昨年、農業委員会等に関する法律が改正され、公選制から、議会の同意を得て市長が任命する方法へと変更になった。

なお、委員選任には農業委員のうち、過半数が認定農業者(※)であることや利害関係者以外の者や、女性及び青年が含まれるよう配慮することとされている。

今回、新たに農業委員会委員10人について同意した。また任期は今年7月20日から平成32年7月19日までの3年となっている。

※法律に基づき、農業者が5年後の経営改善目標を記載した農業経営計画を作成し、市が認定する。認定農業者へは、さまざまな支援措置がある。

議案等に対する賛否状況 (※賛否が分かれた議案のみ掲載しています。)

議案名	結果	大藪健介	永松孝信	坂井久子	松竹卓生	辻義満	村上博昭	近藤佳治	富安伸志	北島一雄	貝田晴義	山下秀則	矢加部茂晴	中富正徳	坂本好教	田中親彦	貝田義博	弥吉治一郎	原口英喜	
農業委員会委員の任命(10議案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄権	-

※原口英喜議長は採決には加わりません。 ○賛成 ●反対

平成29年7月九州北部豪雨において被災された皆さまに
謹んでお見舞いを申し上げます。
犠牲になられた方のご冥福と、1日も早い復旧・復興を
心よりお祈りいたします。

委員の紹介

- 田中 謙男 (江口)
- 永松 久昌 (前津)
- 城戸 孝行 (熊野)
- 實本 太 (尾島)
- 田島 照臣 (野中)
- 井寺知江子 (庄島)
- 成清 輝美 (北長田)
- 角 豊明 (上町)
- 富安 春二 (庄島)
- 田中 瑞廣 (江口)



意見書案2件

地方財政の充実・強化を求める意見書

(全員賛成 原案可決)

教育予算の確保と拡充を求める意見書

(全員賛成 原案可決)

意見書は、関係大臣等へ送付。

5月26日臨時会

臨時会では「平成29年度筑後市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)」と「筑後市条例の一部を改正する条例制定」についての専決処分の承認の2件を可決した。

馬場政英議員逝去

5月13日、馬場政英議員が、1期任期半ばで逝去されました。筑後市議会では、臨時会において、全員で黙とうを捧げました。市政の発展に貢献された馬場政英議員の功績を称え、謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈りします。

